

# 2014年度（2015年3月期） 第2四半期 決算説明会

2014年10月31日

セイコーエプソン株式会社

## ■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

---

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

## ■ 本説明資料における表示方法

---

数値： 表示単位未満を切り捨て

比率： 円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

## ■ 2014年度業績開示について

---

2014年度からIFRSによる業績を開示

(実績ならびに予想数値はIFRS)

比較対象となる2013年度実績値もIFRSに置き換えて表示

※ 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

# 1. 概要

## 2. 詳細

# 決算ハイライト（中間決算）

(億円)	2013年度		2014年度				増減額 / 増減率	
	実績	%	7/31予想	%	実績	%	前年同期比	前回予想比
売上収益	4,713	-	5,030	-	5,128	-	+414 +8.8%	+98 +1.9%
事業利益	335	7.1%	380	7.6%	509	9.9%	+173 +51.7%	+129 +34.0%
営業利益	304	6.5%	690	13.7%	785	15.3%	+481 +158.2%	+95 +13.9%
税引前 四半期利益	295	6.3%	690	13.7%	806	15.7%	+510 +173.1%	+116 +16.8%
四半期利益	198	4.2%	590	11.7%	656	12.8%	+458 +230.1%	+66 +11.3%
EPS	110.93 円		329.81 円		366.63 円			
換 算 レ ー ト	USD	98.85 円	101.00 円		103.04 円			
	EUR	130.00 円	137.00 円		138.91 円			

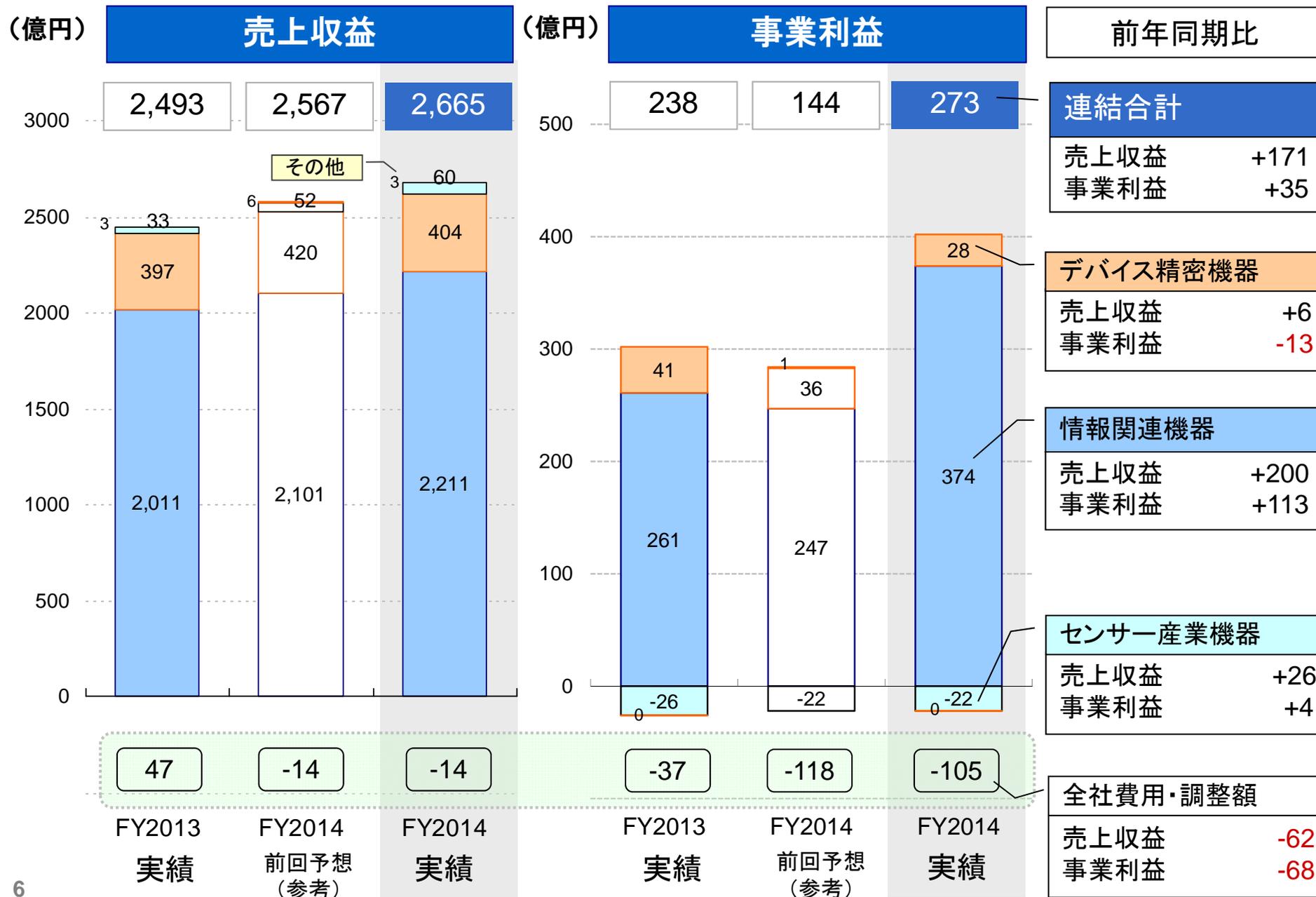
前回予想 第2四半期以降の予想前提レート  
USD: 100.00円、EUR: 135.00円

# 決算ハイライト（第2四半期決算）

(億円)	2013年度		2014年度		増減額/ 増減率 前年 同期比	7/31前回予想(参考)	
	2Q実績	%	2Q実績	%		上期予想から 1Q実績を控除	%
売上収益	2,493	-	2,665	-	+171 +6.9%	2,567	-
事業利益	238	9.6%	273	10.3%	+35 +14.7%	144	5.6%
営業利益	230	9.3%	239	9.0%	+8 +3.8%	143	5.6%
税引前 四半期利益	230	9.2%	258	9.7%	+28 +12.5%	142	5.6%
四半期利益	149	6.0%	190	7.2%	+41 +28.0%	124	4.8%
EPS	82.90 円		106.18 円				
換 算 レ ー ト	USD	98.95 円	103.92 円			100.00 円	
	EUR	131.05 円	137.76 円			135.00 円	

前回予想 第2四半期以降の予想前提レート  
USD: 100.00円、EUR: 135.00円

# 2014年度第2四半期業績▶事業セグメント別



## 第2四半期 業績のポイント(社内計画比)

- ◆ 情報関連機器の各事業が堅調に推移、円安効果も加わり、売上収益および事業利益は社内計画を上回った

全社	<ul style="list-style-type: none"><li>+ 為替の円安影響</li><li>+ 一部固定費等の費用が下期にスライド</li></ul>
情報 関連機器	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 大容量インクタンクモデル、商業プリンターが計画通り進捗</li><li>+ 消耗品売上が好調</li><li>+ 欧米POSプリンターの販売好調</li><li>+ プロジェクターの販売好調(四半期レコード更新)</li></ul>
デバイス精密	<ul style="list-style-type: none"><li>- 民生向け水晶の数量減少</li><li>- 半導体の一部需要の下期シフト</li></ul>

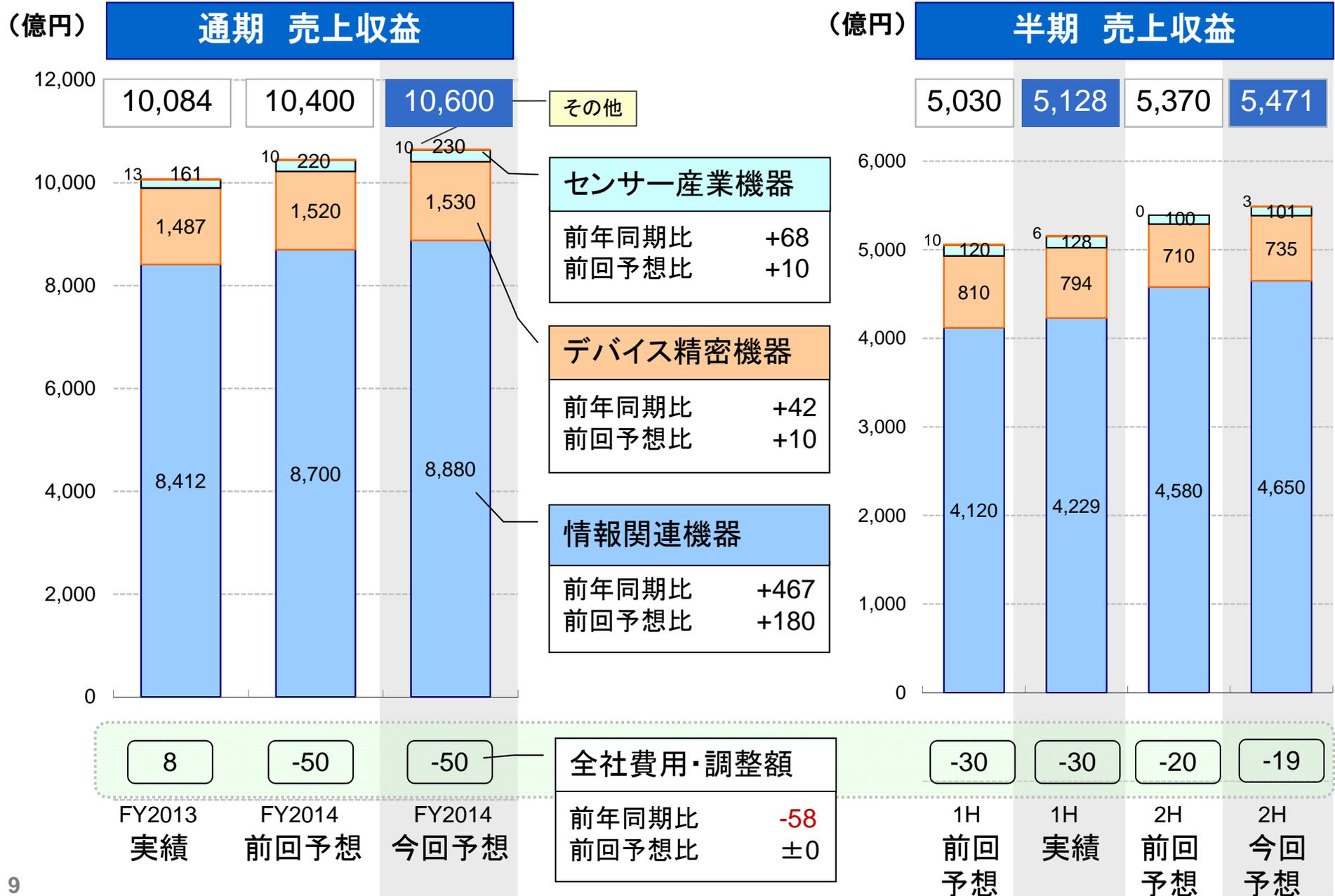
※ +, - の符号は事業利益への影響を表す

# 2014年度業績予想

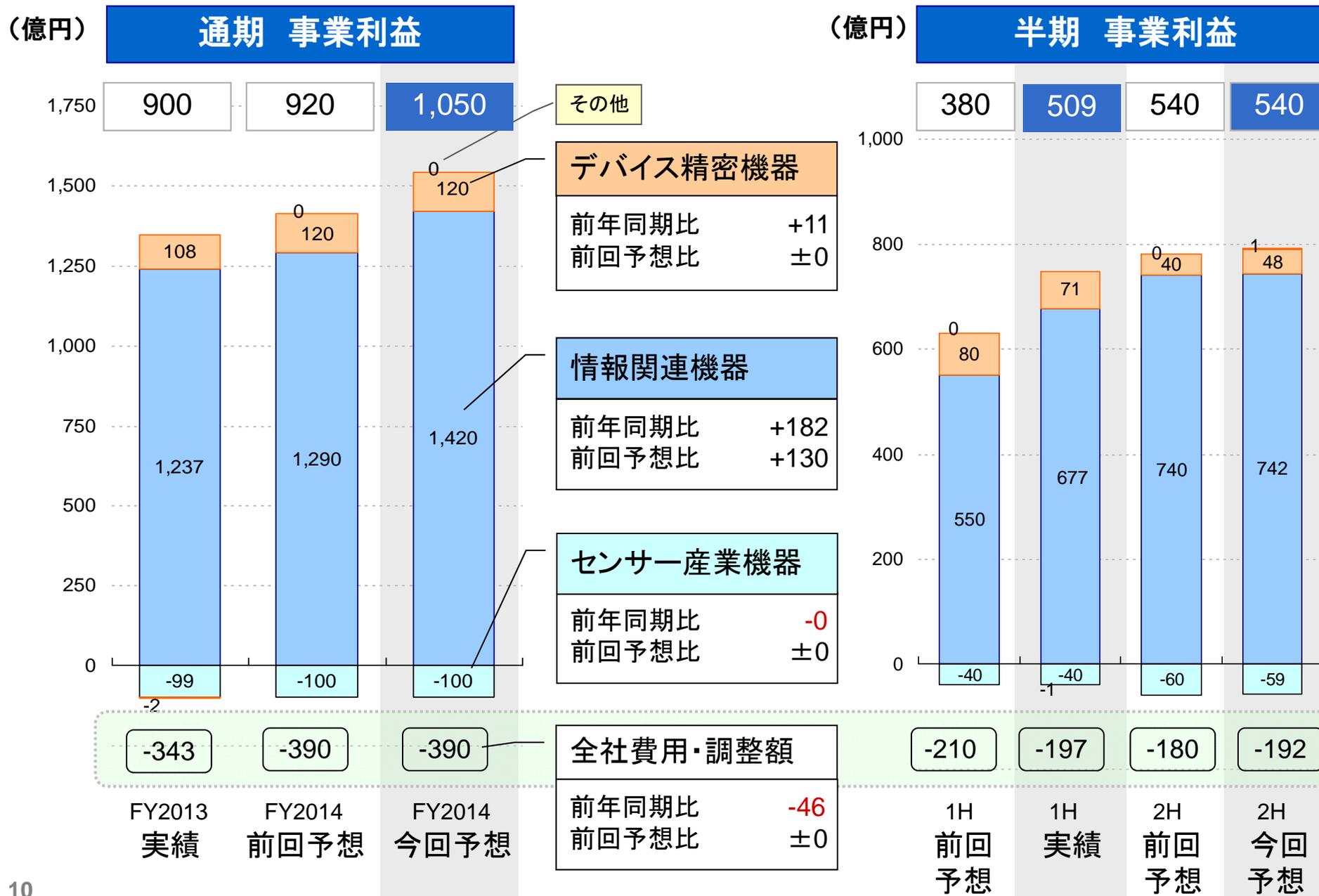
(億円)	2013年度		2014年度				増減額 / 増減率		
	実績	%	7/31予想	%	今回予想	%	前年同期比	前回予想比	
売上収益	10,084	-	10,400	-	10,600	-	+515 +5.1%	+200 +1.9%	
事業利益	900	8.9%	920	8.8%	1,050	9.9%	+149 +16.6%	+130 +14.1%	
営業利益	795	7.9%	1,200	11.5%	1,320	12.5%	+524 +65.9%	+120 +10.0%	
税引前利益	779	7.7%	1,190	11.4%	1,320	12.5%	+540 +69.3%	+130 +10.9%	
当期利益	844	8.4%	1,000	9.6%	1,110	10.5%	+265 +31.5%	+110 +11.0%	
EPS	472.03 円		559.00 円		620.50 円		<b>今回予想</b> 3Q以降の為替レート前提 USD: 100.00円 EUR: 135.00円		
換 算 レ ー ト	USD	100.23 円	100.00 円		102.00 円				
	EUR	134.37 円	136.00 円		137.00 円				
							<b>為替感応度(1円円安の年間影響額)</b>		
							売上収益	事業利益	
							USD	+約38億円	+約3億円
							EUR	+約12億円	+約8億円

\* 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出

# 2014年度業績予想(売上収益)▶事業セグメント別



# 2014年度業績予想(事業利益)▶事業セグメント別



# 2014年度 業績予想のポイント

- ◆ SE15後期 新中期経営計画で定めた戦略は順調に進捗、下期以降もブレることなく施策に取り組む
- ◆ 下期の業績予想に以下の要素を織り込む

全社	○ 各事業を取り巻く市場環境や計画前提に大きな変化はない － 業績連動費用増、上期からスライドした費用増
情報 関連機器	+ 大容量インクタンクモデルおよびプロジェクターの数量増 － IJP消耗品の個別要因 － 戦略商品の販促投資
デバイス精密	+ 上期からシフトの需要取り込み

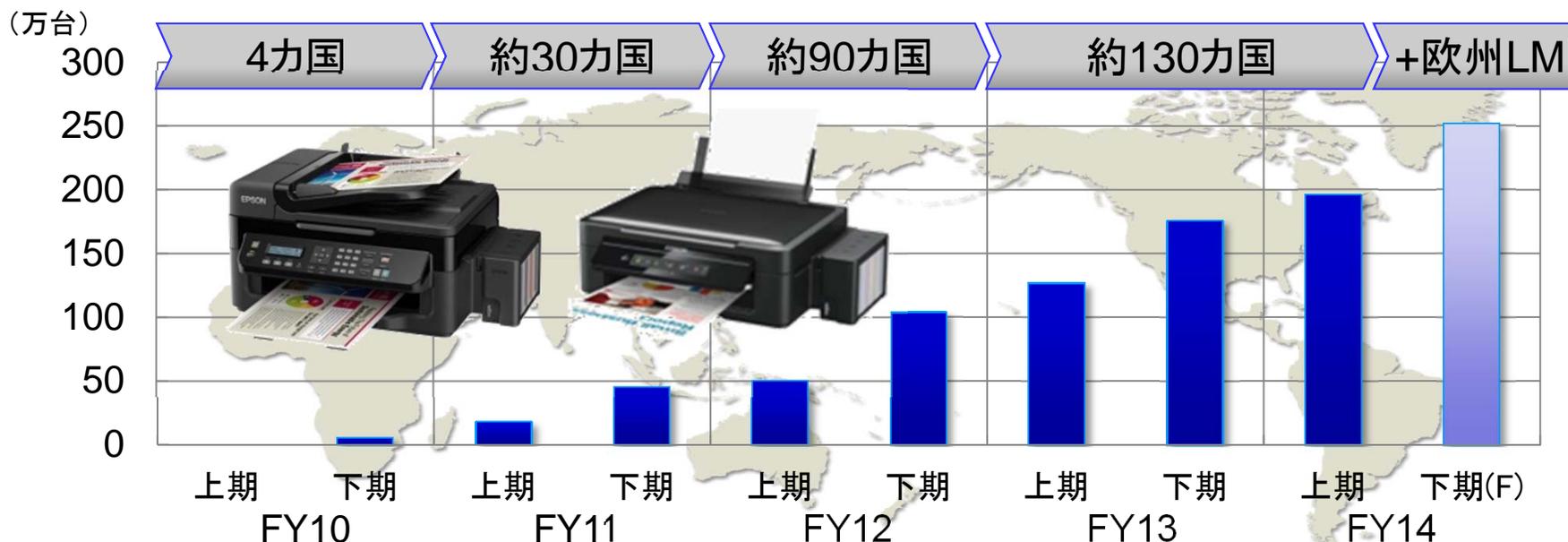
※ +, - の符号は事業利益への影響を表す

(億円)

	売上収益			事業利益		
	前回予想	今回予想	修正	前回予想	今回予想	修正
上期実績	5,030	5,128		380	509	
下期予想	5,370	5,471		540	540	
通期予想	10,400	10,600		920	1,050	

## 大容量インクタンクモデル

- エマージング市場で堅調な伸び、下期より欧州先進国(LM)にも投入開始



## スマートチャージ/ 大容量インクパックモデル

- 国内受注は順調に推移、顧客反応は良好
- 予定通り西欧で販売開始



## プロジェクター

- 市場成長が回復するなか、ビジネス/ホーム向けとも好調を継続
- 超短焦点など特徴ある商品の拡販強化



## センシングシステム

- エプソンのコア技術を生かした特徴ある新商品を投入
  - ・ GPS、モーション、バイタルなどのセンシング技術
  - ・ 低消費電力技術
  - ・ ウォッチ技術



PULSESENSE  
脈拍センサー搭載 for Life



WristableGPS  
脈拍センサー搭載 for Running



M-Tracer  
For Golf

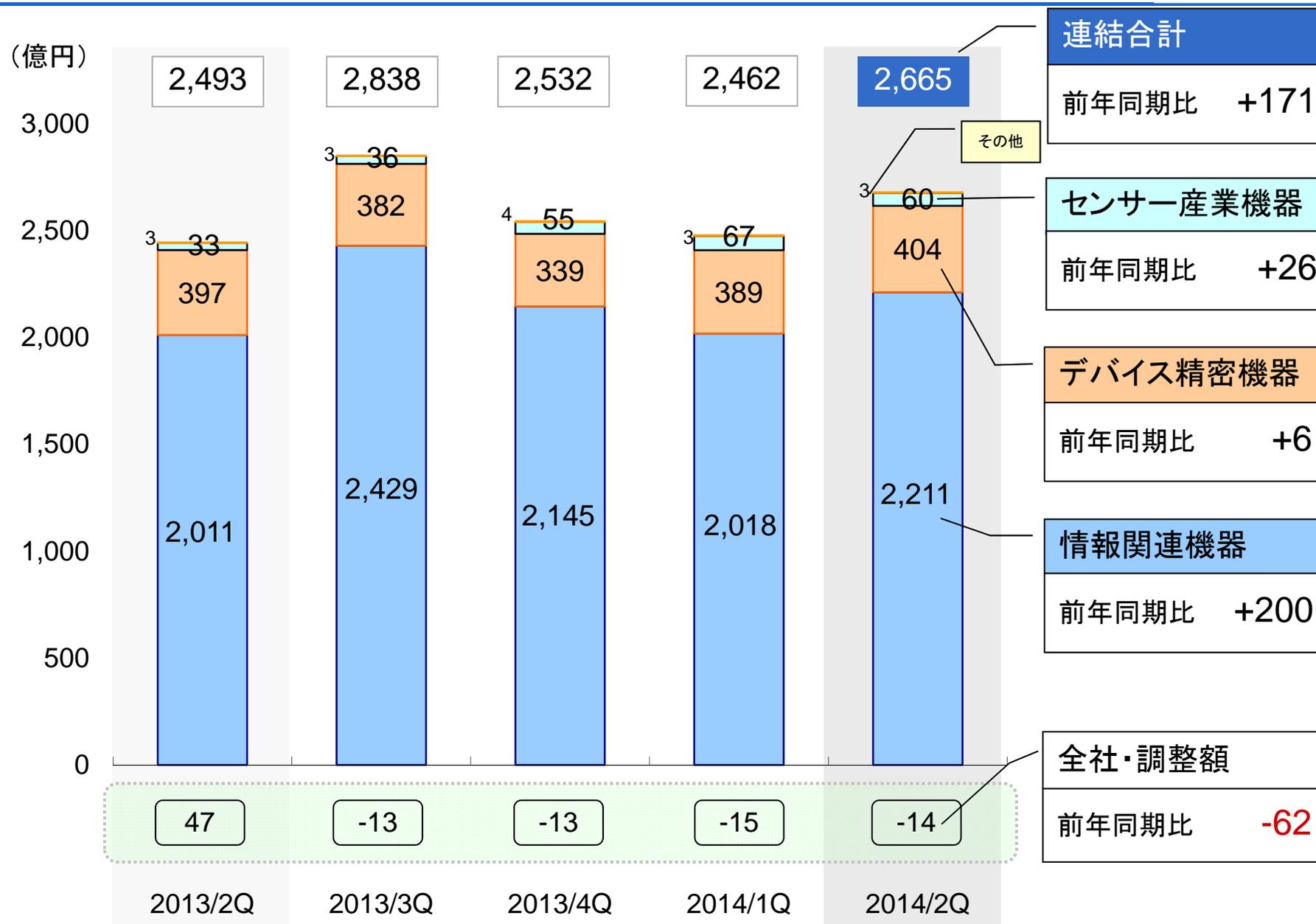
## 1. 概要

## 2. 詳細

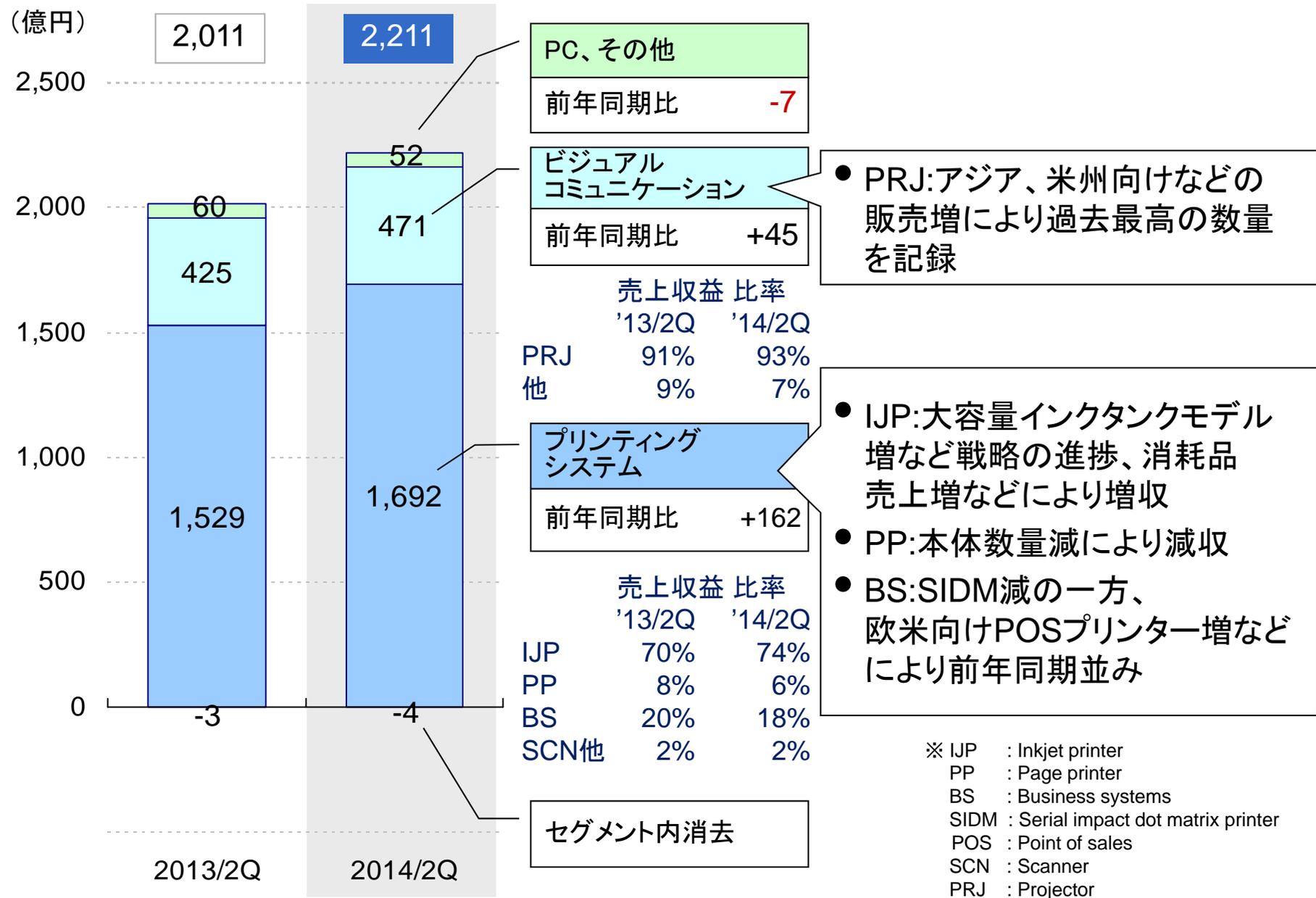
1) 2014年度 第2四半期決算

2) 2014年度 業績予想

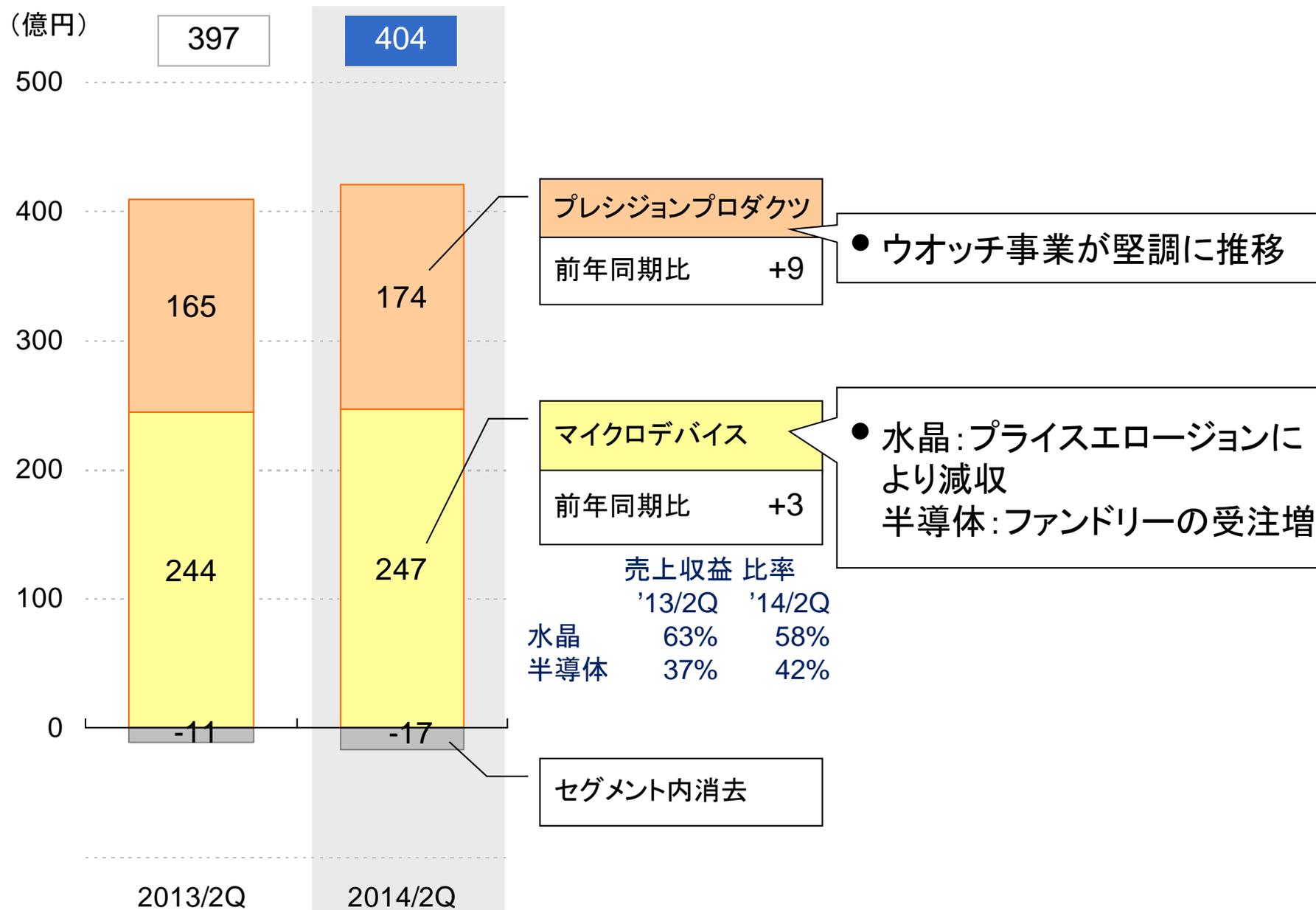
# 四半期売上収益推移 ▶ 事業セグメント別



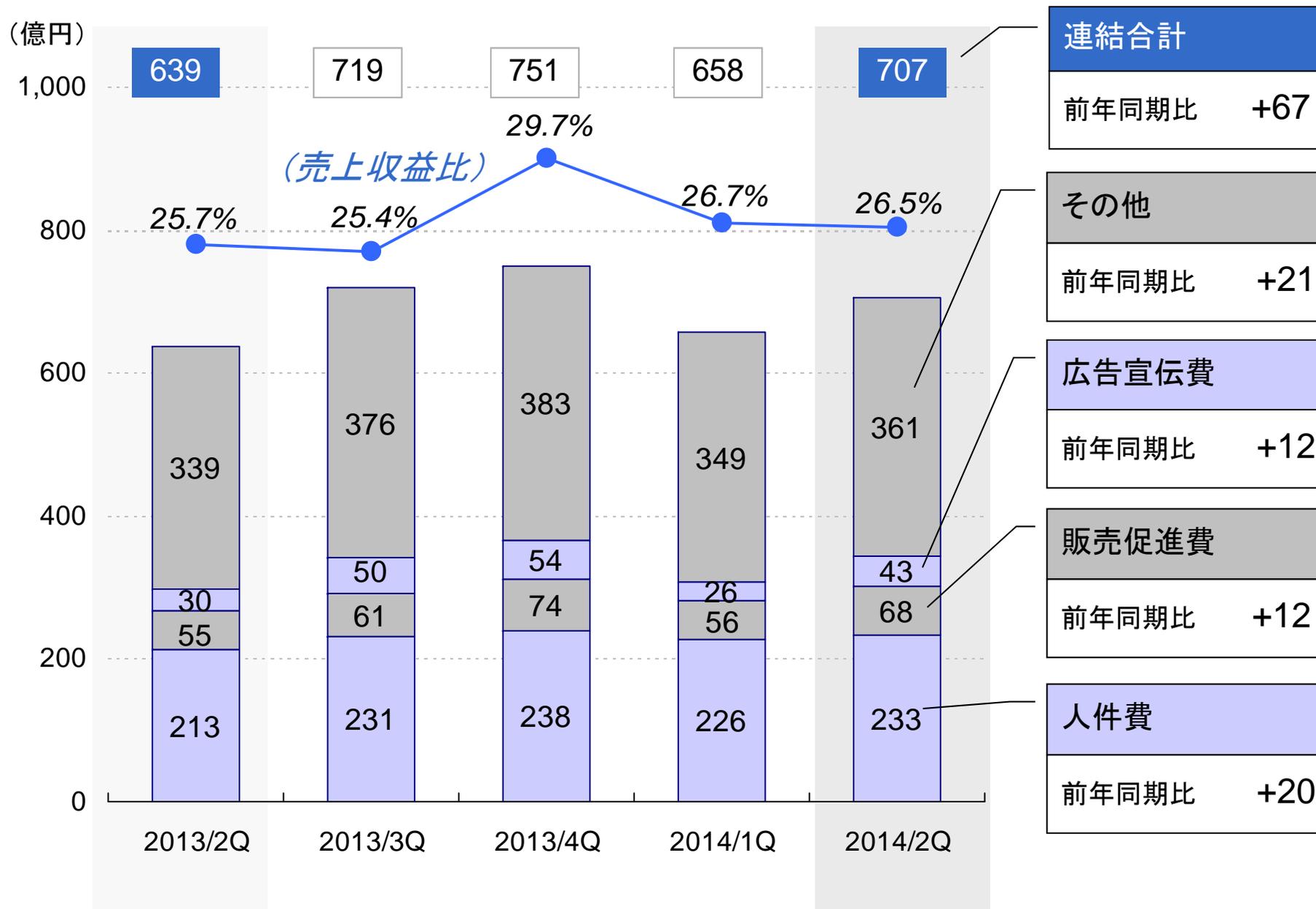
# 四半期売上収益比較 ▶ 情報関連機器セグメント



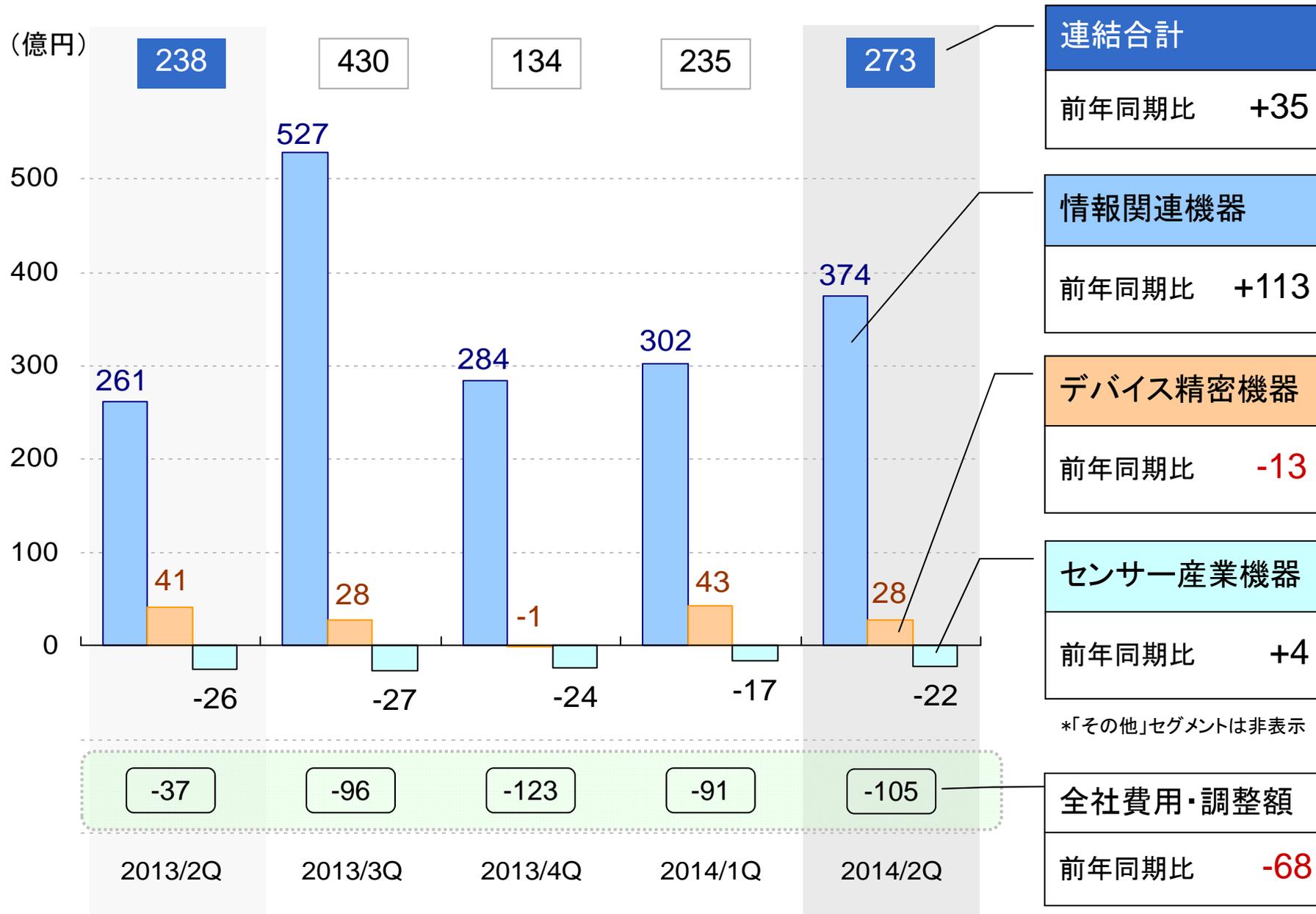
# 四半期売上収益比較 ▶ デバイス精密機器セグメント



# 四半期販売費及び一般管理費推移

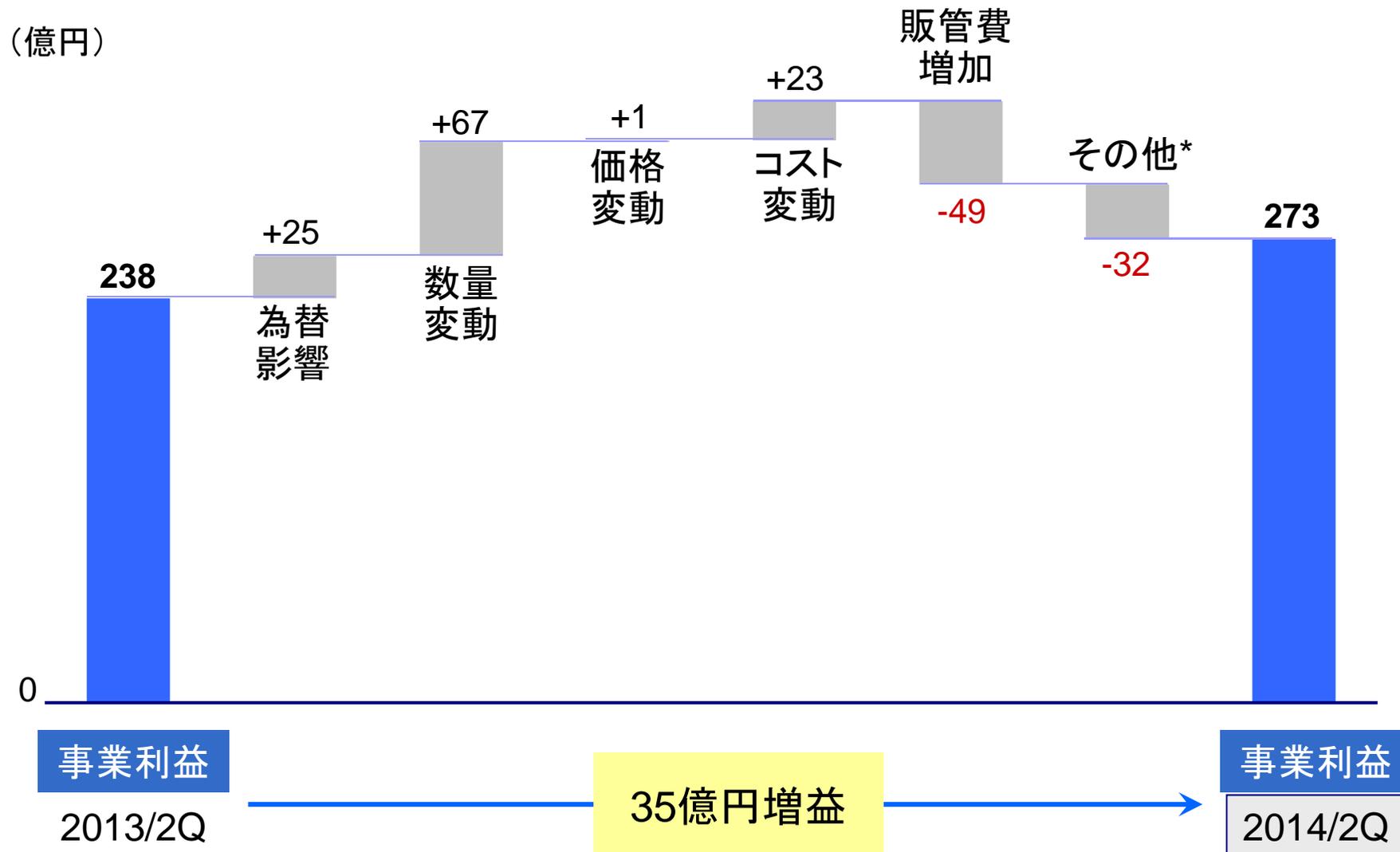


# 四半期事業利益推移 ▶ 事業セグメント別



\* 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出

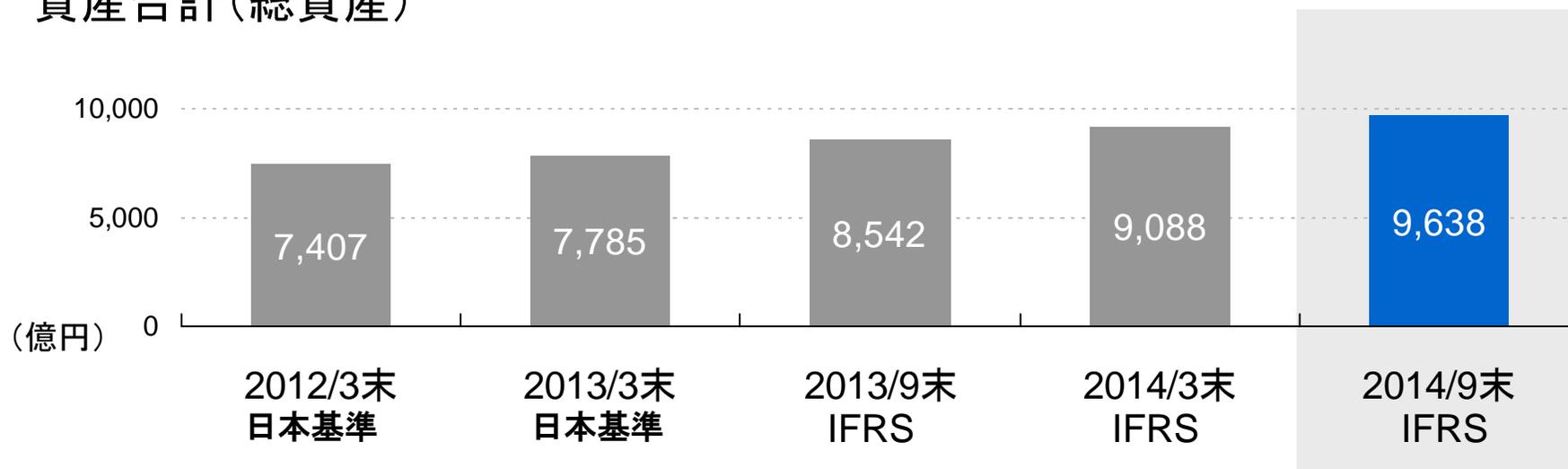
# 事業利益増減要因分析



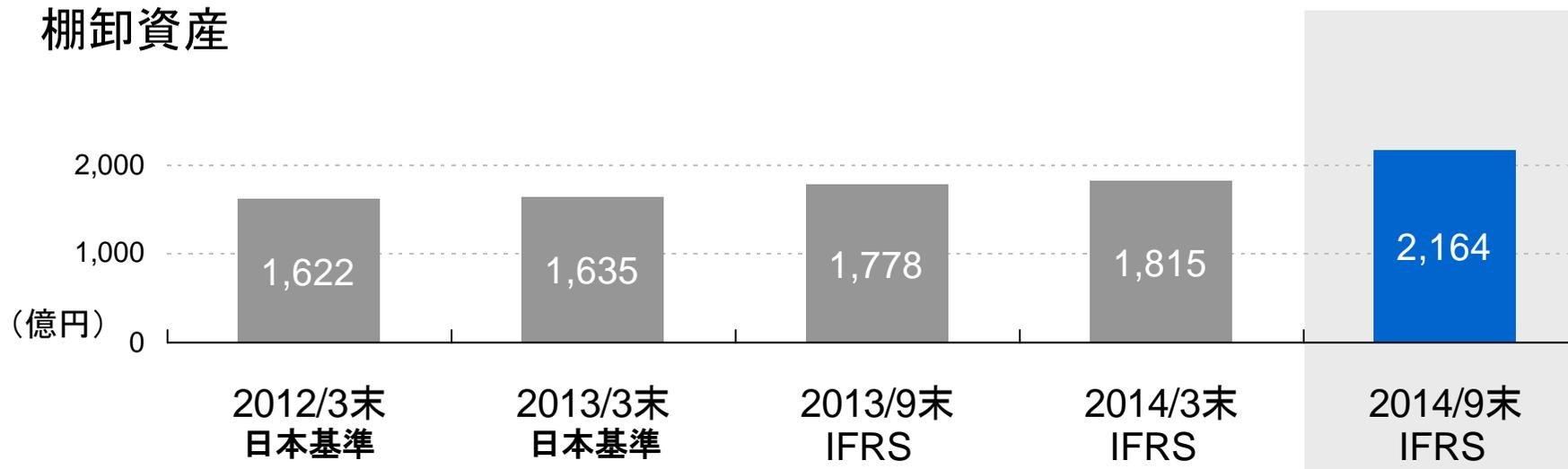
\* 全社費用セグメント及び各セグメントにおいて類似商品同士の比較に適さない商品・事業の増減の総計

# 財政状態計算書主要項目推移

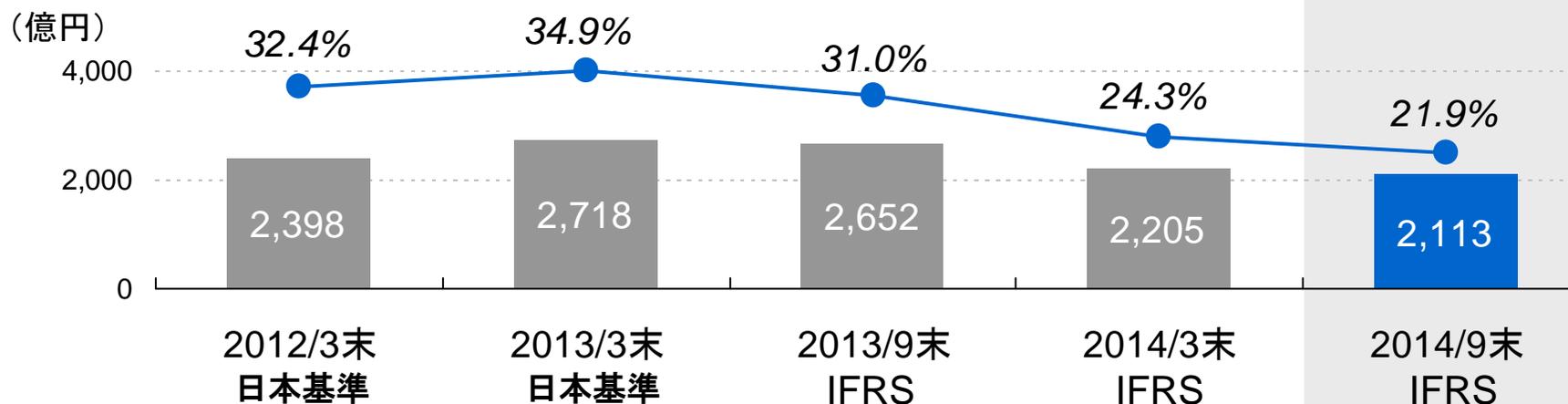
## 資産合計(総資産)



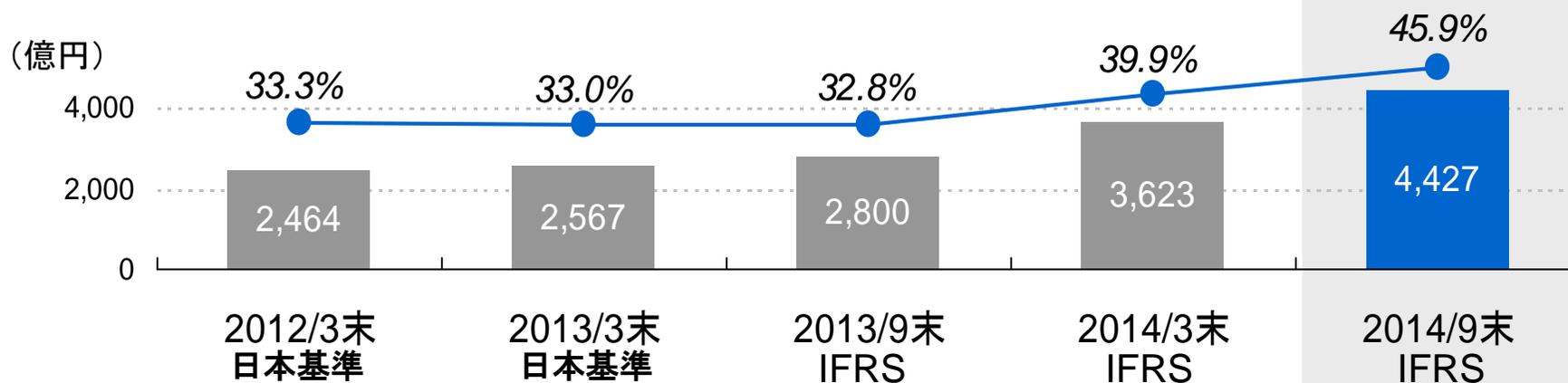
## 棚卸資産



## 有利子負債・有利子負債依存度



## 親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者帰属持分比率 (自己資本・自己資本比率)

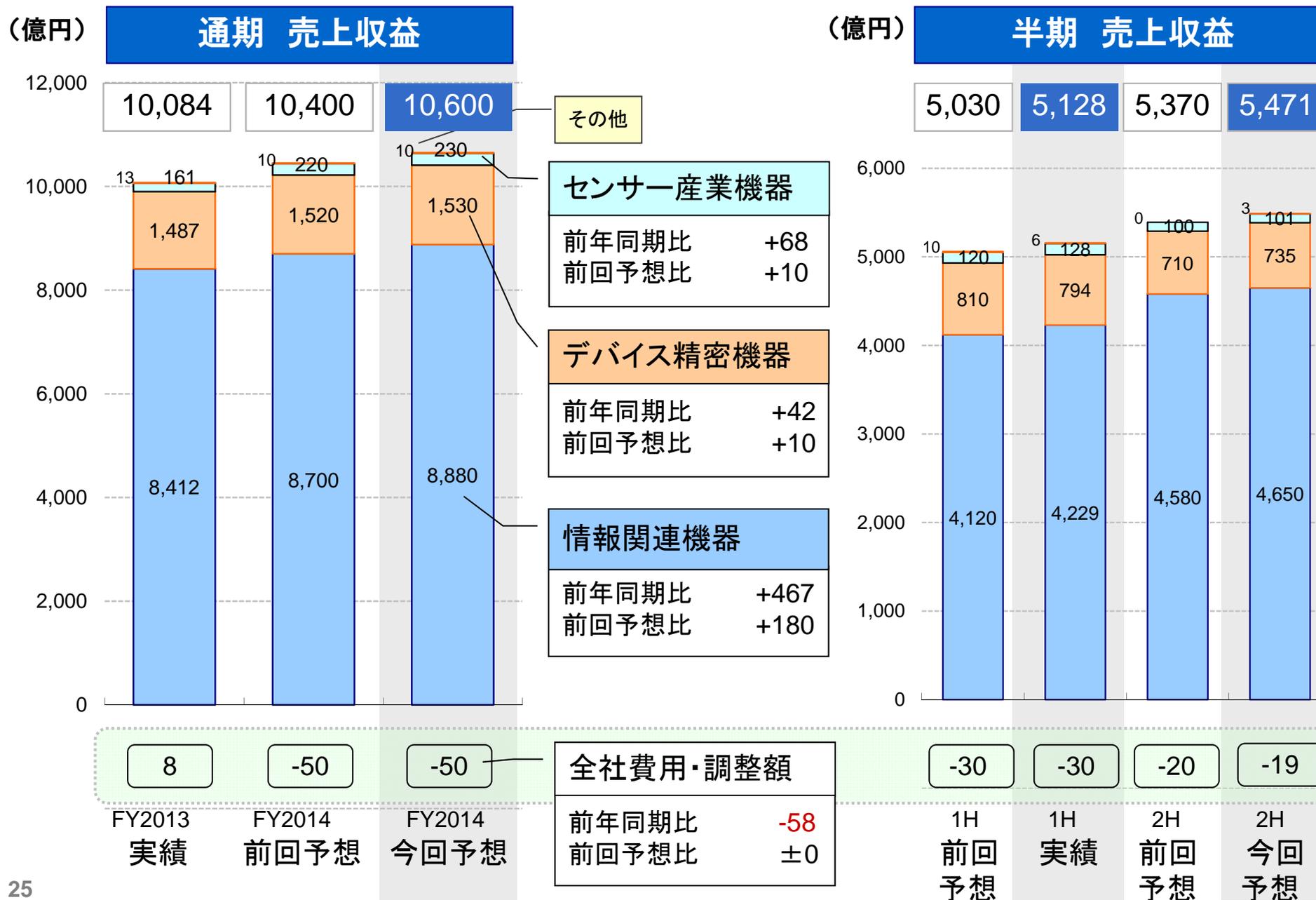


\*有利子負債:リース負債を含む

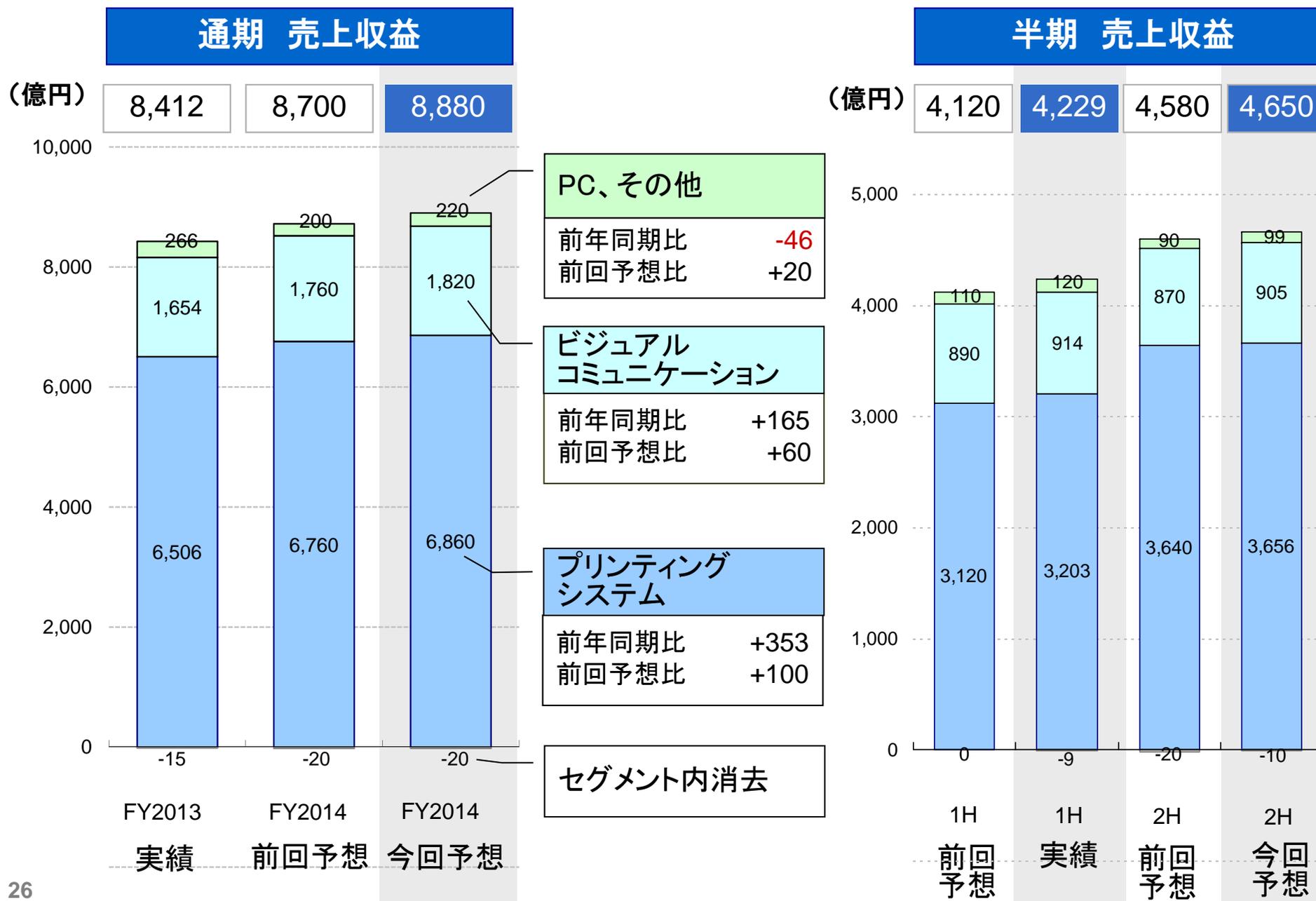
1) 2014年度 第2四半期決算

2) 2014年度 業績予想

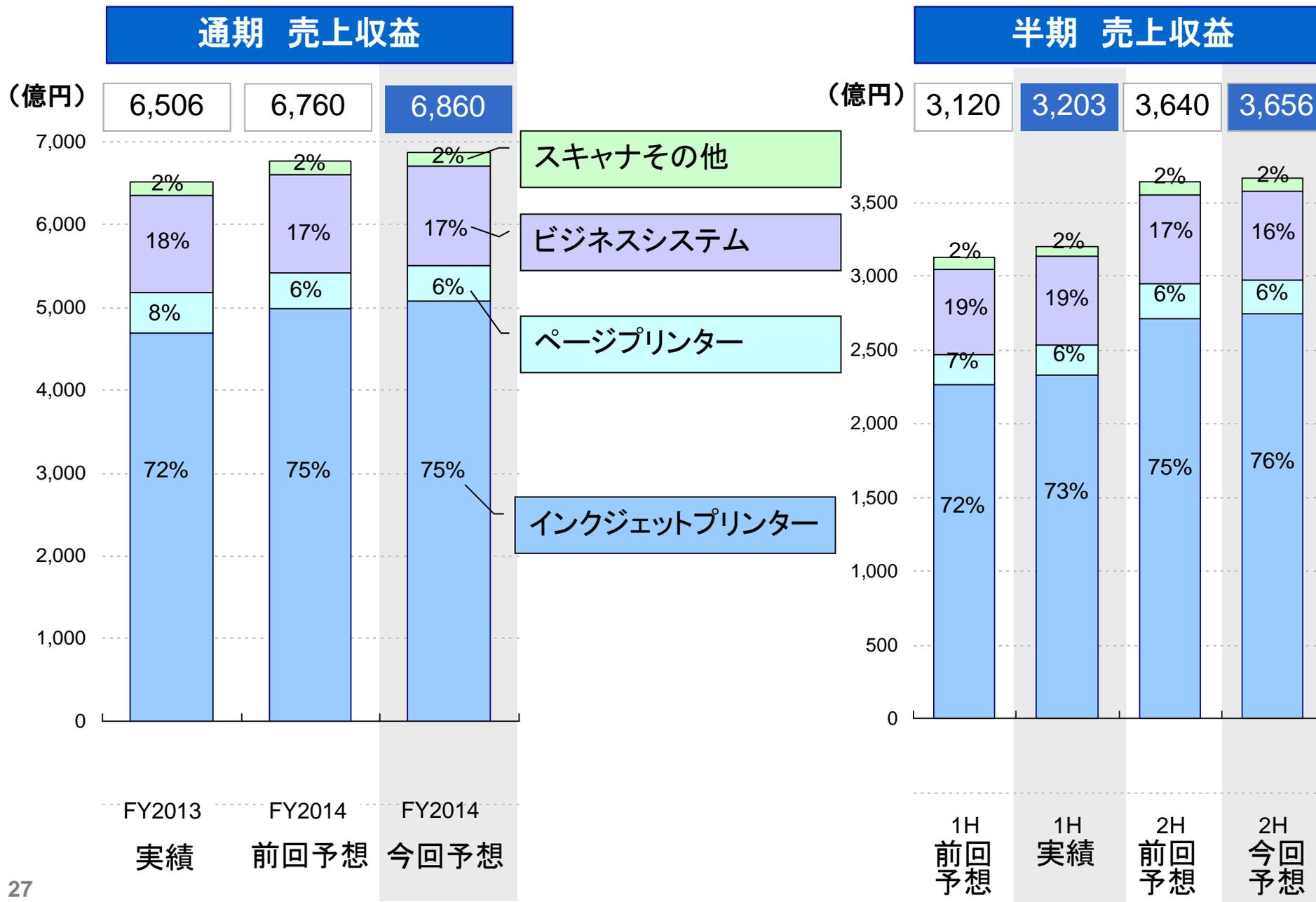
# 2014年度業績予想(売上収益)▶事業セグメント別



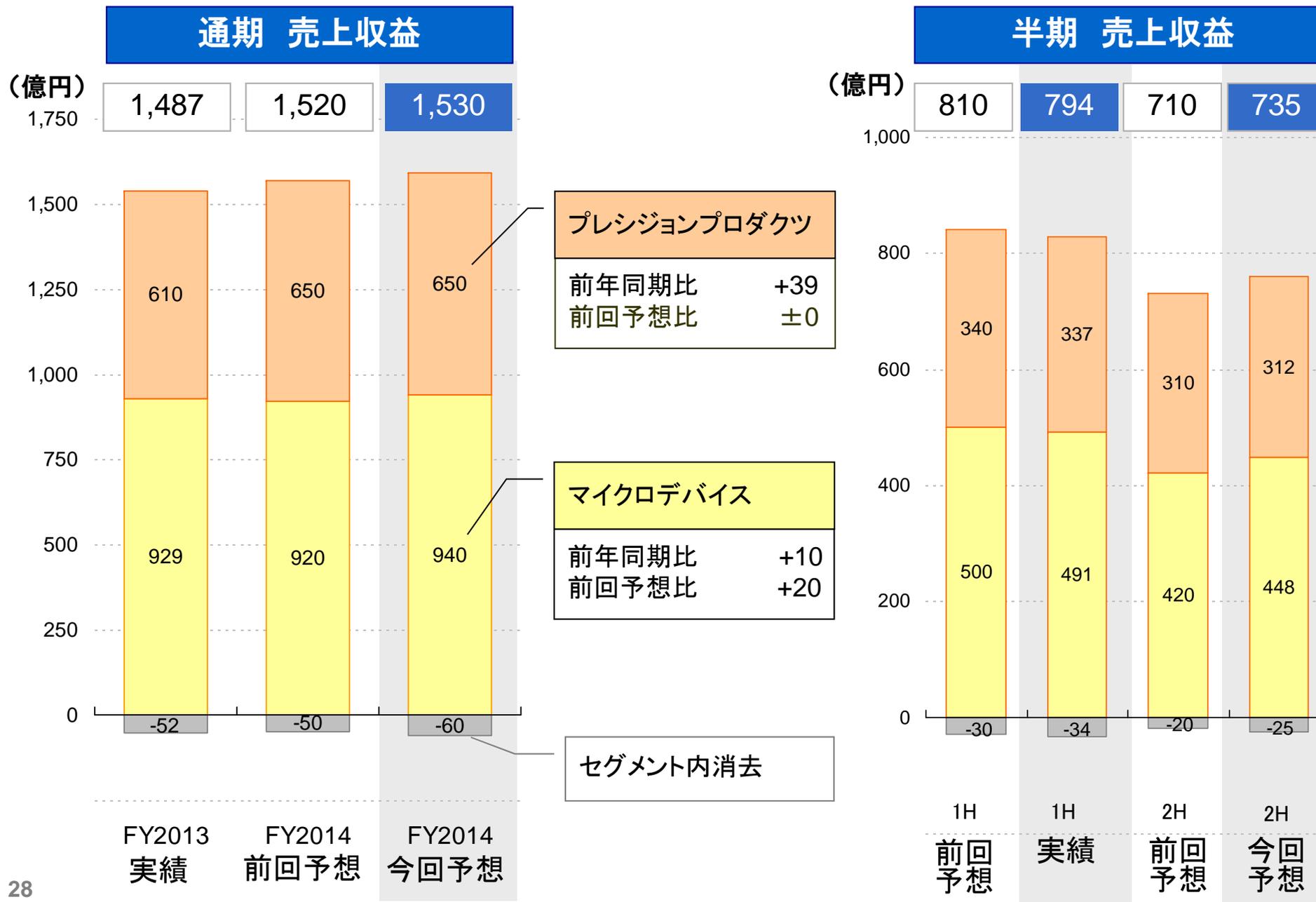
# 事業別売上収益予想 ▶ 情報関連機器事業セグメント



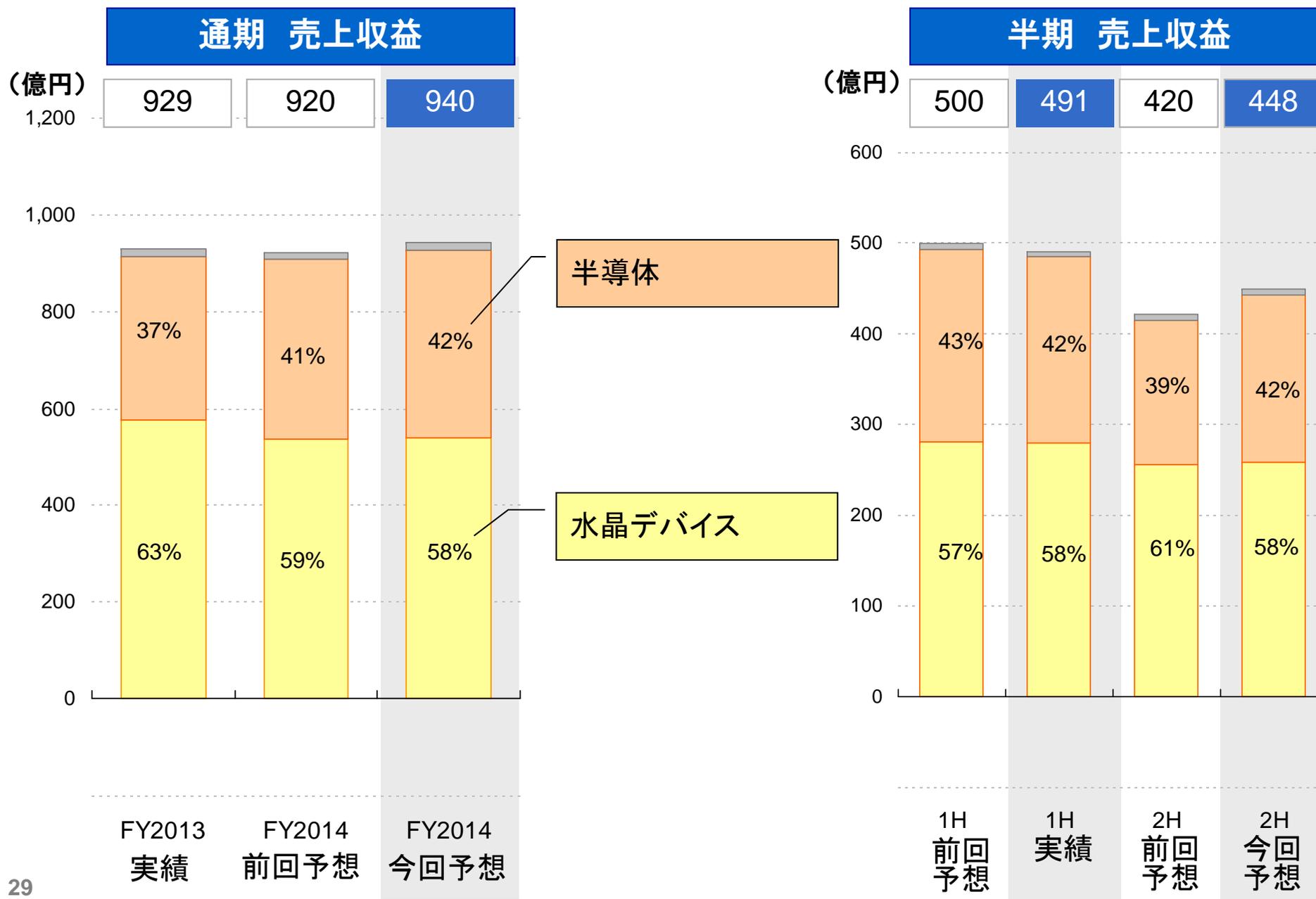
# 事業別売上収益予想 ▶ プリンティングシステム事業



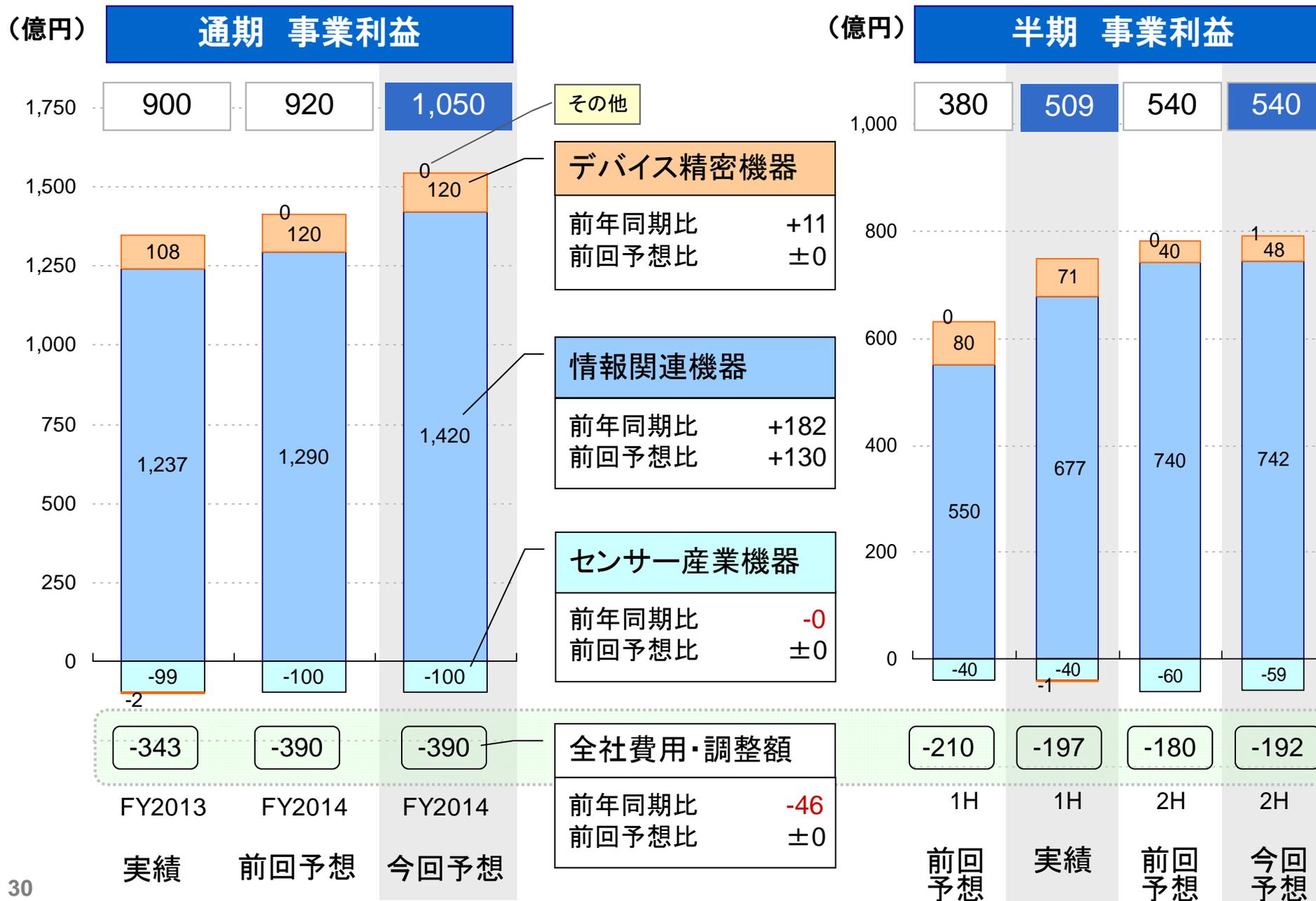
# 事業別売上収益予想 ▶ デバイス精密機器事業セグメント



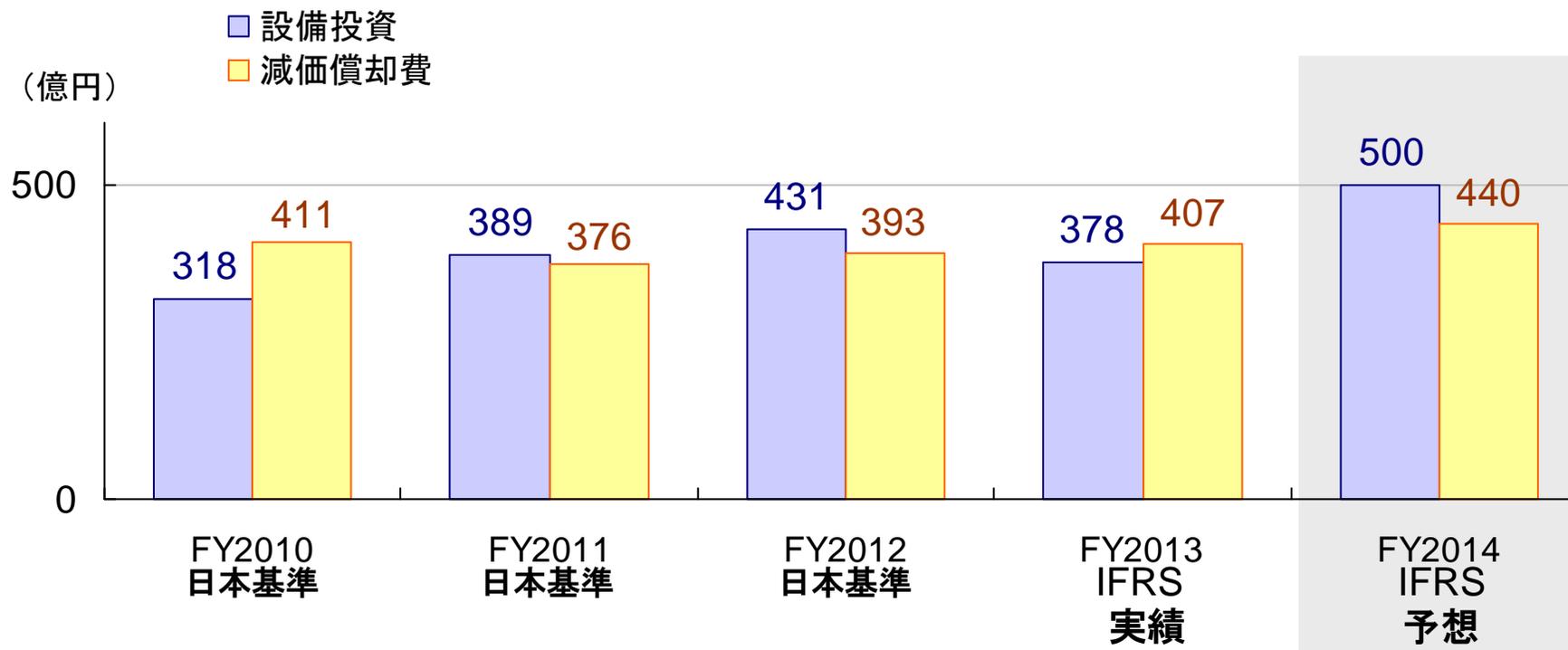
# 事業別売上収益予想 ▶ マイクロデバイス事業



# 2014年度業績予想(事業利益)▶事業セグメント別



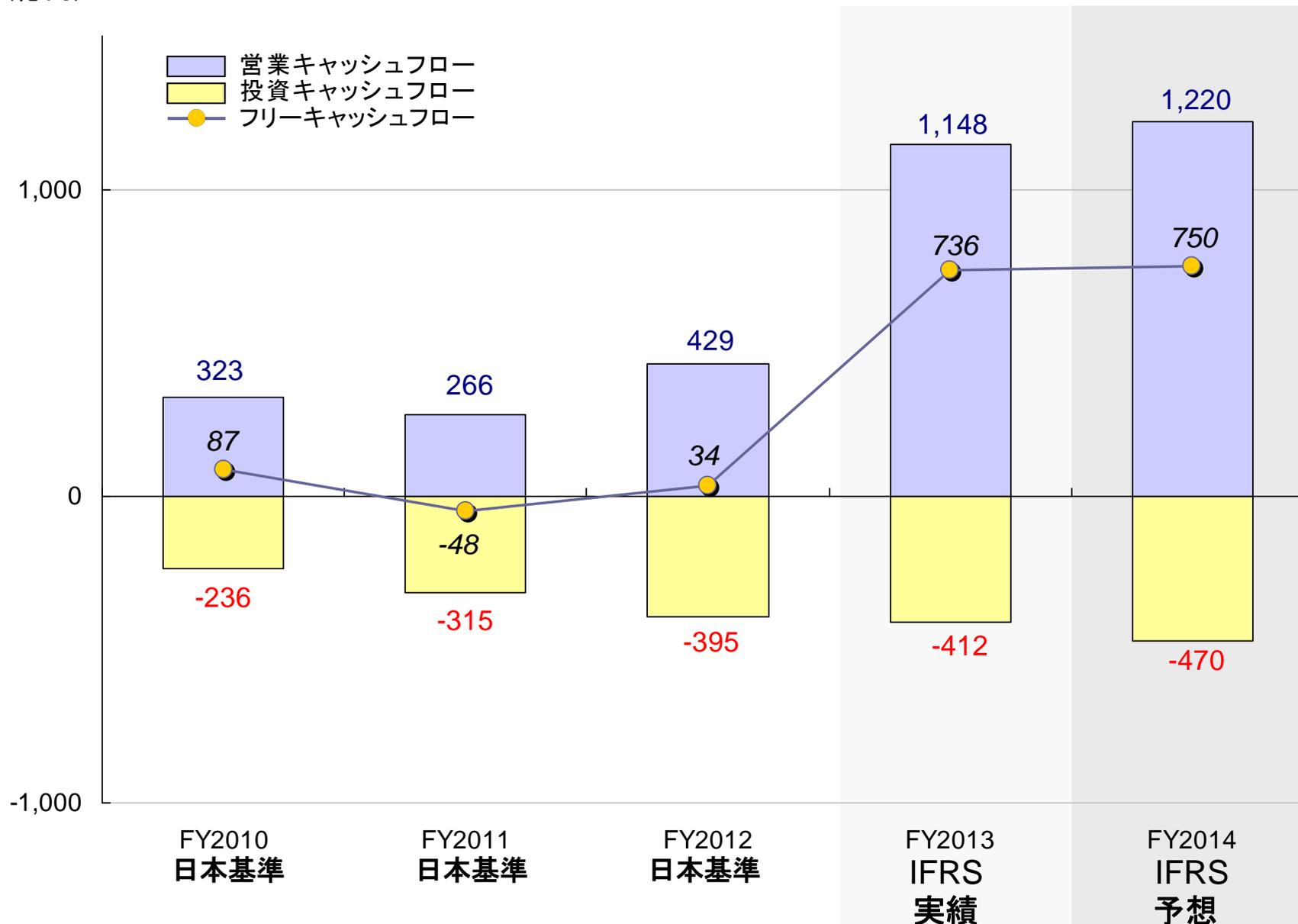
# 設備投資・減価償却費予想



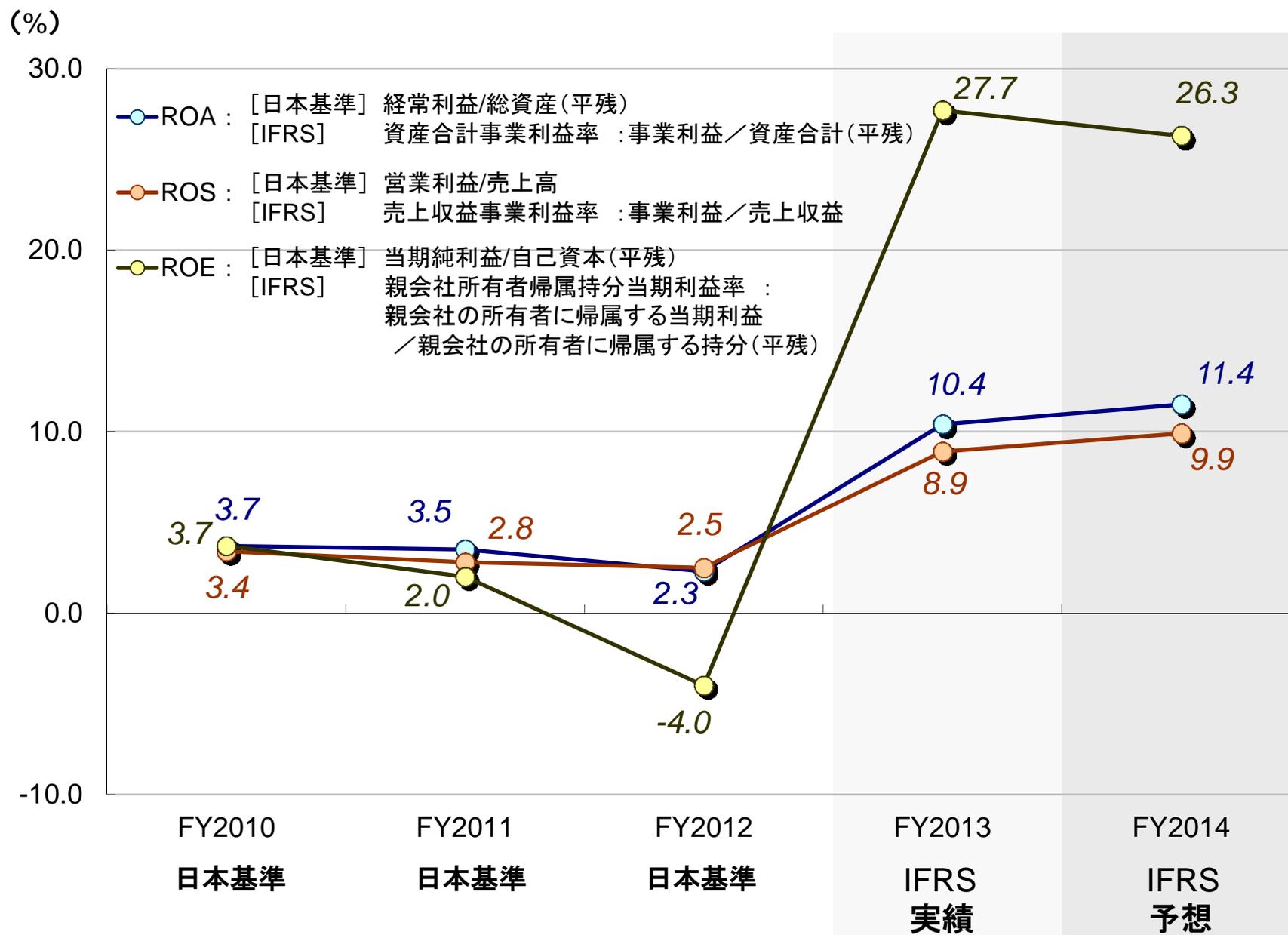
<セグメント別内訳>	FY2013実績		FY2014予想	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
情報関連機器	268	273	340	310
デバイス精密機器	80	76	90	80
センサー産業機器	8	7	20	10
その他・全社費用	20	49	50	40

# フリーキャッシュフロー予想

(億円)



# 主な経営指標の推移



**EPSON**  
EXCEED YOUR VISION